

各 位

ペメトレキセド点滴静注用 100mg/500mg「日医工 G」  
扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法に対する  
効能又は効果、用法及び用量追加のお知らせ

日医工株式会社の子会社である日医工岐阜工場株式会社（本社：富山県富山市）は、ペメトレキセド点滴静注用 100mg/500mg「日医工 G」につきまして、本日 1 月 31 日、下記の通り、扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法に対する「効能又は効果」、「用法及び用量」の追加に係る承認を取得いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 【効能又は効果】（下線部追加）

悪性胸膜中皮腫、切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法

## 【用法及び用量】（下線部追加）

## 1. 悪性胸膜中皮腫

シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、1 日 1 回 500mg/m<sup>2</sup>（体表面積）を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

## 2. 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

通常、成人にはペメトレキセドとして、1 日 1 回 500mg/m<sup>2</sup>（体表面積）を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

3. 扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法

ニボルマブ（遺伝子組換え）及び白金系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、1 日 1 回 500mg/m<sup>2</sup>（体表面積）を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、3 コースまで投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

以 上